

四国ノーサンエッグは鶏卵の卸販売を行う。契約農家から集めた鶏卵を、洗浄や殺菌サイズごこの仕分けなどを経て出荷する。洗卵工程では次亜塩素酸を混ぜた50度〜55度Cの温水で殻の表面を洗浄・殺菌する。洗浄水の加熱に温水ボイラを用いていたため、灯油代など燃料コストの負担が増え、本格運転に時間もかかっていた。品質管理室の河野宏通課長代理は「特に冬場の寒い時期は1時間近く動かさないと作業できなかった」と振り返る。2015年に鶏卵の

四国ノーサンエッグ

モノづくり現場
低炭素・省エネ・生産革新の実現 ⑥

灯油使用量 1/10 以下に
洗卵殺菌にヒートポンプ併用



温水の供給にも手間がかかっていたため、ラニングコスト削減や生産性向上、安定運転などを目的に、新たな加熱システムの検討をはじめた。四国電力から提案を受け、17年2月に新しく

「この結果、毎朝の洗卵選別機。温水を卵にかけて表面のゴミを取り除き、写真奥の機械で洗浄・殺菌する」

【事業所概要】▽所在地 香川県綾歌郡綾川町陶10004の26、087・876・3115▽主要生産品目 鶏卵加工販売、飼料販売▽年間エネルギー使用量 57・62千kWh(原油換算、17年度)▽年間CO₂排出量 121・4t(17年度)